

救 助



救助業務の状況

本市の救助業務体制は、平成7年4月から4署体制とし、各署に救助隊を配置しています。

教育訓練は、救助隊教育訓練実施計画に基づき、年間及び月間実施計画を定めて気力、体力の充実強化を図り、隊員の技能向上に努めています。

なお、平成14年から特殊災害（生物剤、化学剤に起因する事故等）に対応する資器材の整備強化を図るとともに、近年多発する大規模自然災害やテロ等の特殊災害に迅速的確に対応するため、人命救助に関する高度な知識・技術を身につけた隊員で構成する高度救助隊（スーパーレスキュー松山 2隊14名）を平成18年4月に創設し、中央消防署に配置しました。

救助隊の編成

（総員55名 車両10台）（令和6年4月1日現在）

隊 編 成			人 員	配 置 車 両
高度救助隊	中央消防署	一部	隊長 1 名 隊員 6 名	救助工作車Ⅲ型（2.9tクレーン付） 特殊災害資機材車
		二部	隊長 1 名 隊員 6 名	
特別救助隊	東消防署	一部	隊長 1 名 隊員 6 名	救助工作車Ⅱ型（2.9tクレーン付） 小型動力ポンプ付軽積載車
		二部	隊長 1 名 隊員 6 名	
救助隊	南消防署	一部	隊長 1 名 隊員 6 名	救助工作車Ⅱ型（2.9tクレーン付）
		二部	隊長 1 名 隊員 6 名	
救助隊	西消防署	一部	隊長 1 名 隊員 5 名	救助工作車Ⅱ型（2.9tクレーン付） 大型高所放水車 小型動力ポンプ付積載車 拠点機能形成車 消防ポンプ自動車（中島支所）
		二部	隊長 1 名 隊員 6 名	



中央消防署 救助工作車Ⅲ型



南消防署 救助工作車Ⅱ型

救助出動等の状況

令和5年中の救助出動件数は、284件（前年248件）、活動件数は、210件（前年192件）であり、前年と比較すると、出動件数は36件（14.5%）、活動件数は18件（9.4%）増加しています。

また、救助人員は176人（前年152人）で、前年と比較すると、24人（15.8%）増加しています。

（各年中）（▲減少）

区 分	令和5年		令和4年		増減（A－B）	増減率
	A	B	C		$(C \div B \times 100)\%$	
出 動 件 数	284	248	36		14.5	
活 動 件 数	210	192	18		9.4	
救 助 人 員	176	152	24		15.8	
内 訳	男性	91	79	12	15.2	
	女性	85	73	12	16.4	
出 動 台 数	1,463	1,370	93		6.8	
出 動 人 員	4,685	4,477	208		4.6	
事 故 種 別 出 動 件 数	火 災	6	19	▲ 13	▲ 68.4	
	交 通	50	42	8	19.0	
	水 難	9	8	1	12.5	
	自 然 災 害	7	0	7	—	
	機 械	4	1	3	300.0	
	建 物	148	129	19	14.7	
	ガ ス ・ 酸 欠	6	3	3	100.0	
	破 裂	0	0	0	—	
	そ の 他	54	46	8	17.4	

（注）火災での出動件数は、救助活動を行った件数のみ計上しています。

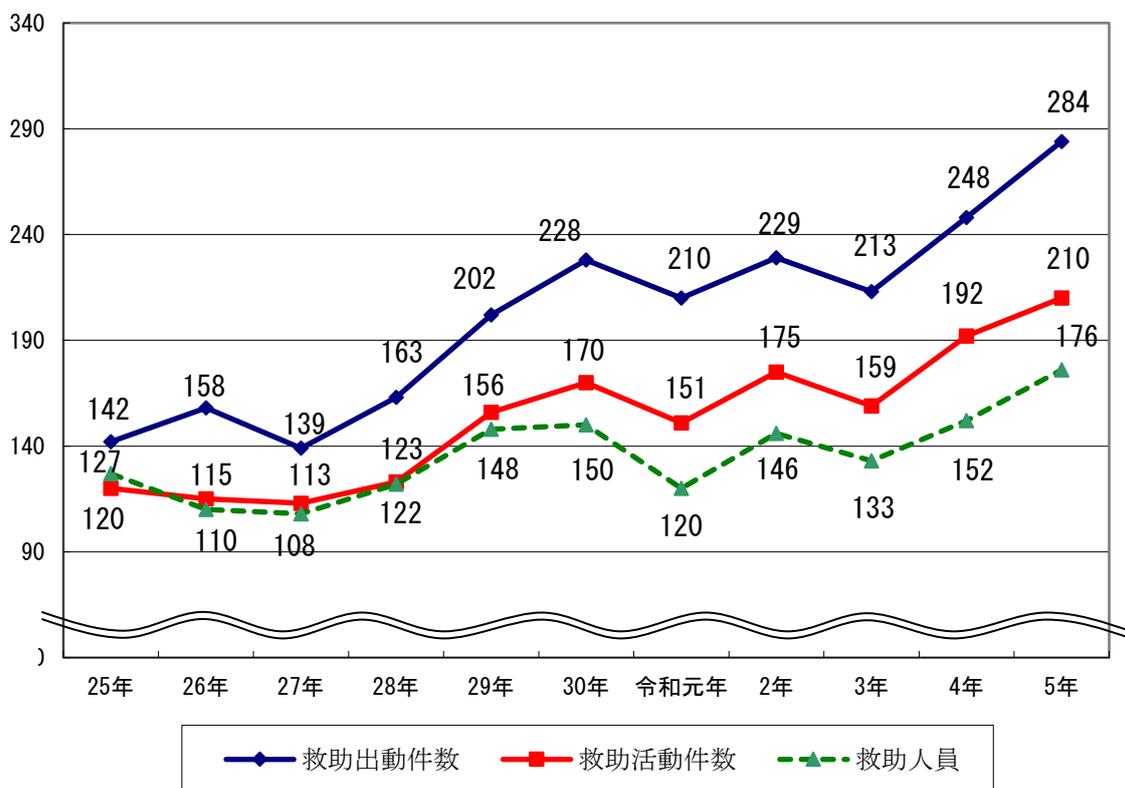
救助出動等の推移

10年前の平成25年を指数100とした場合、出動件数200、活動件数175、救助人員139となっています。

(各年中) (▲減少)

区分 年	救助出動件数			救助活動件数			救助人員		
	件数	指数	対前年増減率(%)	件数	指数	対前年増減率(%)	人数	指数	対前年増減率(%)
平成25年	142	100	—	120	100	—	127	100	—
平成26年	158	111	11.3	115	96	▲ 4.2	110	87	▲ 13.4
平成27年	139	98	▲ 12.0	113	94	▲ 1.7	108	85	▲ 1.8
平成28年	163	115	17.3	123	103	8.8	122	96	13.0
平成29年	202	142	23.9	156	130	26.8	148	117	21.3
平成30年	228	161	12.9	170	142	9.0	150	118	1.4
令和元年	210	148	▲ 7.9	151	126	▲ 11.2	120	94	▲ 20.0
令和2年	229	161	9.0	175	146	15.9	146	115	21.7
令和3年	213	150	▲ 7.0	159	133	▲ 9.1	133	105	▲ 8.9
令和4年	248	175	16.4	192	160	20.8	152	120	14.3
令和5年	284	200	14.5	210	175	9.4	176	139	15.8

(件/人)



事故種別・署別出動の状況

事故種別ごとに救助活動の状況をみると、出動件数で最も多いのは、建物等による事故の148件で、全体の52.1%を占め、次いで交通事故の50件(17.6%)となっています。

活動件数で最も多いのは、建物等による事故の114件で、全体の54.3%を占め、次いで交通事故の34件(16.2%)となっています。

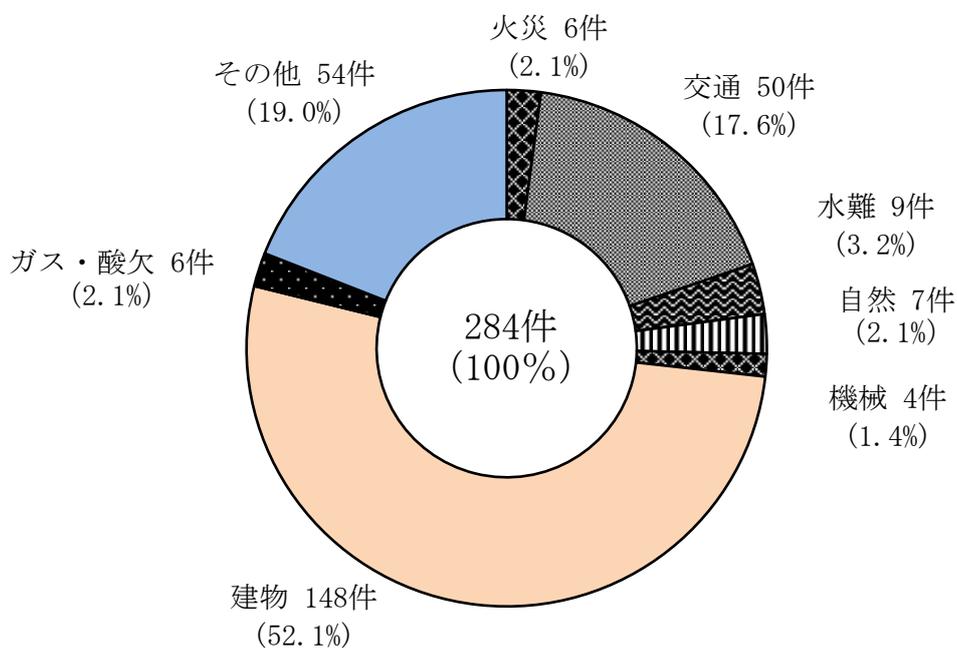
また、救助人員についても、建物等による事故が最も多く81人で、全体の46.0%を占め、次いで交通事故の39人(22.2%)となっています。

(令和5年中)

署別		事故種別									
		火災	交通	水難	自然	機械	建物	ガス・酸欠	破裂	その他	合計
中央消防署	出動件数	1	17	3	4	3	69	3		21	121
	活動件数	1	10	3	3	3	56	3		16	95
	救助人員	1	11	3	3	3	38			16	75
	出動台数	11	86	20	16	19	350	19		93	614
	出動人員	40	272	68	47	63	1,120	56		320	1,986
東消防署	出動件数	2	11	1	2		22	2		15	55
	活動件数	2	7	1			17	1		6	34
	救助人員	1	8	1			14	1		8	33
	出動台数	25	63	7	9		102	12		80	298
	出動人員	90	195	22	26		329	34		257	953
南消防署	出動件数	2	11	3	1	1	38	1		5	62
	活動件数	2	7	3		1	24	1		3	41
	救助人員	1	7	3		1	17	1		3	33
	出動台数	22	57	18	2	6	176	1		26	308
	出動人員	91	175	57	6	17	547	3		80	976
西消防署	出動件数	1	11	2			19			13	46
	活動件数	1	10	1			17			11	40
	救助人員		13	1			12			9	35
	出動台数	9	62	16			96			60	243
	出動人員	34	194	54			298			190	770
合計	出動件数	6	50	9	7	4	148	6	0	54	284
	構成比(%)	2.1	17.6	3.2	2.5	1.4	52.1	2.1	0.0	19.0	100.0
	活動件数	6	34	8	3	4	114	5	0	36	210
	構成比(%)	2.9	16.2	3.8	1.4	1.9	54.3	2.4	0.0	17.1	100.0
	救助人員	3	39	8	3	4	81	2	0	36	176
	構成比(%)	1.7	22.2	4.5	1.7	2.3	46.0	1.1	0.0	20.5	100.0
	出動台数	67	268	61	27	25	724	32	0	259	1,463
	出動人員	255	836	201	79	80	2,294	93	0	847	4,685

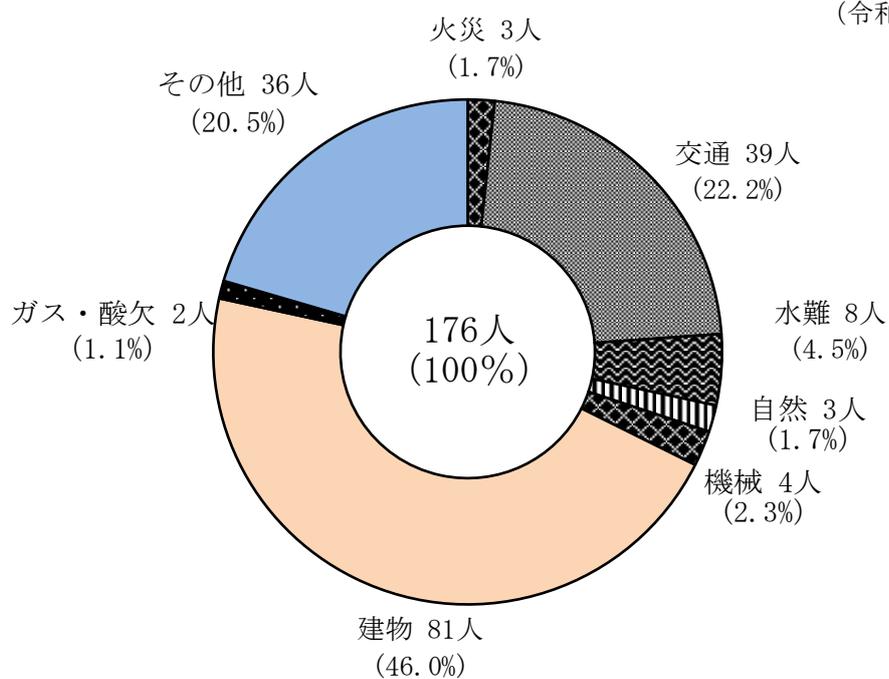
事故種別出動件数と構成割合

(令和5年中)



事故種別救助人員と構成割合

(令和5年中)



月別救助出動等の状況

月別に出動の状況を見ると、10月が最も多く32件で、次いで1月の29件となり、月平均23.7件の出動となっています。

(令和5年中)

区分 月別	出動件数	活動件数	救助人員	事故種別出動件数									
				火災	交通	水難	自然	機械	建物	ガス・酸欠	破裂	その他	
1月	29	22	18		3	3				19	2		2
2月	26	18	16		3					20	1		2
3月	25	13	11		7					10	1		7
4月	25	21	17	2	6	1		1		7			8
5月	23	17	15	1	6			1		10			5
6月	17	11	10		2	2				11			2
7月	27	18	17		5		7			10			5
8月	26	20	15		1					15			10
9月	16	15	15	1	2	1		1		9			2
10月	32	25	20	1	5			1		18			7
11月	18	15	11	1	4	1				9			3
12月	20	15	11		6	1				10	2		1
合計	284	210	176	6	50	9	7	4	148	6	0		54

事故種別・傷病程度別救助人員

救助人員を事故種別・傷病程度別で見ると、建物等による事故の中等症が27人(15.3%)と最も多く、次いで建物等による事故の軽症の26人(14.8%)、交通事故の軽症の13人(7.4%)の順になっています。

(令和5年中)

区分	死亡	重症	中等症	軽症	その他	合計
火災		2			1	3
交通		5	10	13	6	39
水難		7	1			8
自然					3	3
機械			1	2	1	4
建物		9	7	27	12	81
ガス・酸欠		1	1			2
破裂						0
その他		2	5	2	17	36
合計		26	20	41	57	176

発生場所別の出動状況

発生場所別に出動の状況をみると、屋内が171件で、出動件数全体の60.2%を占め、屋外は113件で39.8%となっています。

(令和5年中)

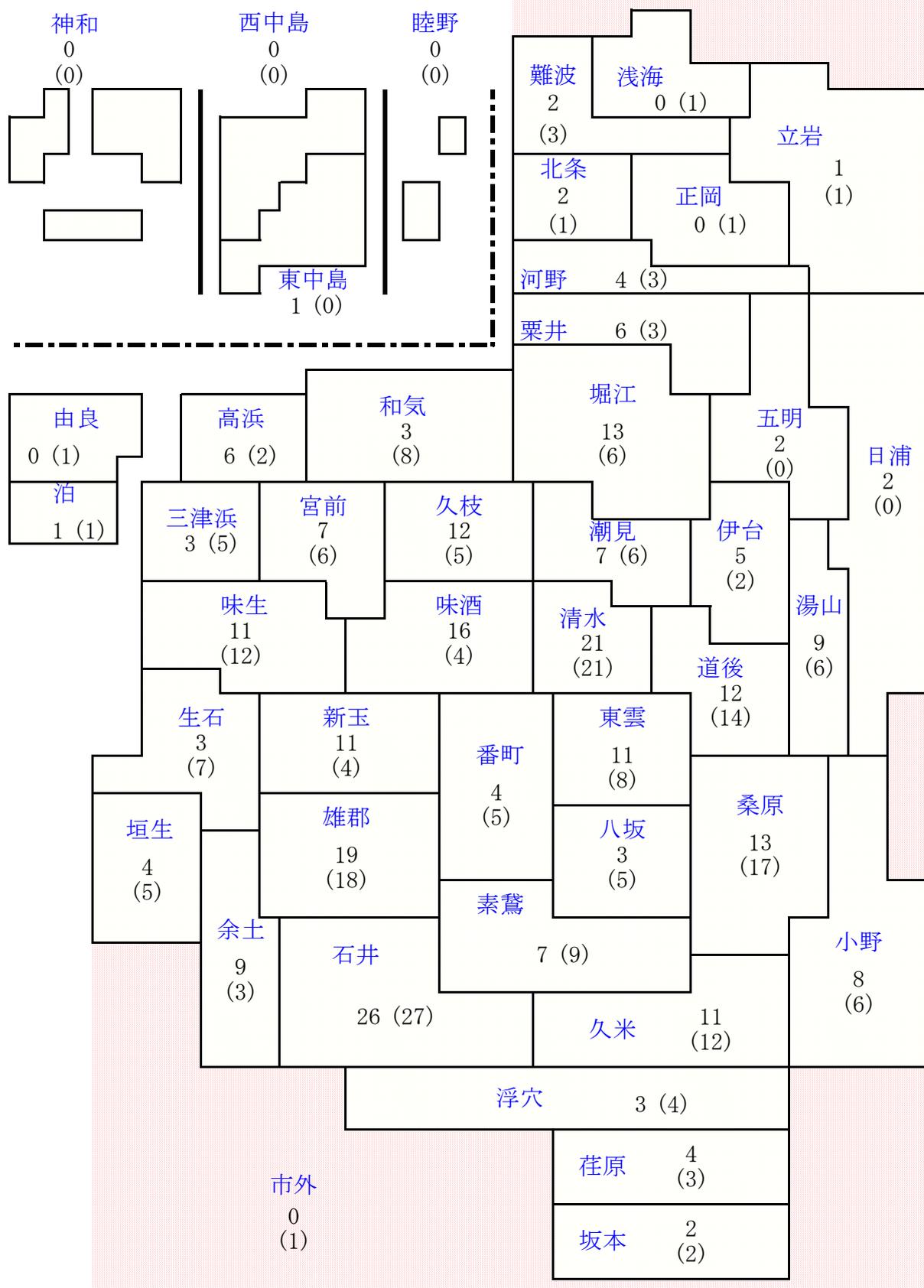
事故種別 発生場所別	火災		交通	水難	自然	機械	建物	ガス・酸欠	破裂	その他	合計
	建物	建物以外									
屋 内	6				4	1	145	3		12	171
	3				2	1	79	1		5	91
住 居	6				4		139	3		9	161
	3				2		75	1		3	84
その他の屋内						1	6			3	10
						1	4			2	7
屋 外			50	9	3	3	3	3		42	113
			39	8	1	3	2	1		31	85
高 速 道 路											0
											0
その他の道路			34		3			1		3	41
			27		1			1		3	32
内 水 面			5	6						3	14
			4	6						2	12
外 水 面			1	3						1	5
			1	2						1	4
山 岳										2	2
										4	4
その他の屋外			10			3	3	2		33	51
			7			3	2			21	33
地 下											0
											0
そ の 他											0
											0
合 計	6	0	50	9	7	4	148	6	0	54	284
	3	0	39	8	3	4	81	2	0	36	176

(注) 救助人員数

地区別救助出動状況

出動件数 284件 (前年 248件) ※ () 内は前年の発生状況

(令和5年中)



救助隊員の訓練実施状況

(令和5年中)

訓練種別		体力練成・訓練	ロープ基本・応用訓練	検索・救助訓練	各種救助器具取扱訓練	各種救助事象想定訓練	その他の訓練	合計
区分								
中央消防署	実施延回数(回)	1,074	21	87	188	153	1	1,524
	実施延人員(人)	4,429	85	374	789	629	3	6,309
	延実施時間(時間)	537.0	25.0	139.0	289.0	257.5	3.0	1,250.5
東消防署	実施延回数(回)	1,215	50	132	37	93	0	1,527
	実施延人員(人)	5,028	206	590	140	388	0	6,352
	実施延時間(時間)	607.5	135.5	318.5	57.5	198.0	0.0	1,317.0
南消防署	実施延回数(回)	1,089	121	63	102	60	0	1,435
	実施延人員(人)	4,257	489	242	434	495	0	5,917
	実施延時間(時間)	594.5	348.0	119.0	177.0	122.5	0.0	1,361.0
西消防署	実施延回数(回)	873	162	95	211	60	26	1,427
	実施延人員(人)	3,585	777	373	910	224	90	5,959
	実施延時間(時間)	436.5	154.0	104.0	192.5	78.0	48.5	1,013.5
合計	実施延回数(回)	4,251	354	377	538	366	27	5,913
	実施延人員(人)	17,299	1,557	1,579	2,273	1,736	93	24,537
	実施延時間(時間)	2,175.5	662.5	680.5	716.0	656.0	51.5	4,942.0

消防救助技術大会

第8回愛媛県消防救助技術大会

- ① 実施日：令和5年6月6日(火)
- ② 実施場所：愛媛県松山市勝岡町1163番地15 愛媛県消防学校

第51回消防救助技術四国地区指導会

- ① 実施日：令和5年7月29日(土)
- ② 実施場所：香川県高松市生島町689番地11 香川県消防学校
【陸上の部】香川県消防学校 【水上の部】香川県消防学校プール

第51回全国消防救助技術大会

- ① 実施日：令和5年8月25日(金)
- ② 実施場所：
【陸上の部】北海道札幌市西区八軒10条西13丁目3番1号 札幌市消防学校
【水上の部】北海道札幌市豊平区平岸5条14丁目1番1号 札幌市平岸プール

国際消防救助隊（IRT）

海外で大規模な災害が発生した場合に、被災国からの要請に応じて、救助活動、医療活動、災害応急対策・災害復旧のための活動を行うために組織される部隊を国際緊急援助隊と言い、そのうち救助活動に従事する消防救助チームが国際消防救助隊と呼ばれます。

国際消防救助隊は、英語で「International Rescue Team of Japanese Fireservice」、略称「IRT-JF」とし、愛称が「愛ある手」とされています。

現在IRTは、全国の消防本部のうち77消防本部から選抜された599名の救助隊員で構成され、松山市消防局からは6名の救助隊員が登録されています。



令和5年度国際消防救助隊連携訓練
(広島県広島市 広島市消防局 西風新都訓練場)

MEMO